

数学科 3年

平方根の利用

担当 名前 戸次 啓

【活動の目標】

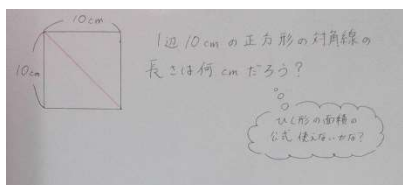
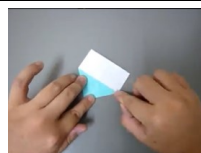
折り紙の1辺の長さの求め方を、折り目に着目することで、平方根を利用して説明することができる。

(思考・判断・表現)

【 問 い 】

- ・ 散らばっているマスキングテープを片付けるために、特定の大きさの折り紙の箱を作りたいと考える過程をパワーポイントで見せることで、本時の課題を捉えさせる。
- ・ 折り紙の折り目から正方形や直角三角形に着目させ、面積から長さを求めることを想起させる。

今回 ICT を活用した場面	従来の活動
<p>A1：教員による教材の提示 本日の課題を生徒に示す場面</p> <p>【ICT 機器を活用する良さ】 本時の活動を行う必要性をパワーポイントや動画を使うことによって、生徒がより強く感じることができる。</p>	<p>従来の活動</p> <p>教師の言葉での課題提示</p>
<p>B1：個に応じる学習 折り紙の1辺の長さをどのようにしたら求められるか考える場面 クロームブック上にヒントを置いておく。 試行錯誤している生徒の考えを随時クロームブックに上げることで、その他の考え方などを知ることができる。</p> <p>↑ ヒント</p> <p>↑ 生徒が思考途中の考え</p> <p>【ICT 機器を活用する良さ】 生徒自身でヒントを見る・見ないを選択できる（自己決定できる）。</p>	<p>教員の見取りで、ヒントカードを手渡しすることなどが考えられる。</p> <p>生徒の手を止めさせて、黒板で教員がヒントを提示するなどが考えられる。</p>



授業前の準備によって、授業内の教員の活動を抑え、生徒の見取りに時間を使うことができる。また、準備によって教員が傍にいても授業中の個人の困りに対応できることがある。

授業のプリントを撮影して提出させることで、後日の評価に使うことができる。

映像を見ることは、生徒に課題を届けるのに有効であると感じる。

【改善すべき点と原因および改善案】

- ・ 教員の考える流れの既存のコンテンツがなく自作する場合、制作に非常に時間がかかることがある。
 - ・ タイピングやアプリの使い方など、生徒自身の技能により作業が遅滞することがある。
- ⇒ 教員、生徒共にハードやソフトを繰り返し活用することで、困りは解決していくと考える。